



阪神・淡路大震災時、被災者の心のケアに奔走した実在の精神科医・安克昌氏の著書『心の傷を癒すということ 神戸…365日』を原案にした NHK ドラマ「心の傷を癒すということ」の劇場版の上映会とフィルムトークを開催します。

監督：安達もじり 原案：安克昌

プロデューサー：京田光広、堀之内礼二郎（都城市出身）、橋本果奈、齋藤明日香 上映時間：1時間 56分

上映会

2022 年 **9/17**(土) 13:30-

会場 **高城生涯学習センター 多目的研修室**
(都城市高城町徳海1-105) **終了しました**

申込：高城図書館 0986-58-4224

定員：100名

上映会

フィルムトーク

2022 年 **10/29**(土) 10:00-/13:30-

会場：都城市立図書館 1F ギャラリー
(都城市中町 16-15)

申込：都城市立図書館 0986-22-0239

定員：各回 100名

午後の回終了後、原案 安克昌さんの実弟、安成洋さん、プロデューサー 堀之内礼二郎さん（都城市出身）のフィルムトークを開催します！

事前予約制

入場無料

自由席

主催：都城市立図書館 0986-22-0239

上映会

心の傷を癒すということ—劇場版—

安和隆は自身のルーツが韓国にあることを幼少時に知って以来、自分は何者なのか模索し続けてきた。やがて人の心に関心を持つようになった彼は、父に猛反対されながらも精神科医の道へと進む。映画館で出会った終子と結婚し、第一子も生まれて幸せな日々を送っていたある日、神戸の街を大震災が襲う。和隆は避難所で被災者たちの声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人々に寄り添い続ける。柄本佑が主演を務め、尾野真千子、石橋凌、森山直太郎が共演。

原案：安 克昌（あん・かつまさ）



1960 年大阪市生まれ。神戸大学医学部卒業。精神科医。阪神淡路大震災において、神戸大学附属病院精神科医局長として、自らも被災しながら、全国から集まった精神科医のボランティアをコーディネートし、精神科救護所・避難所などで、カウンセリング・診療などの救護活動を行った。その後も被災者の心の問題に取り組みつづけ、阪神淡路大震災の 1 年後に、その臨床報告としてまとめた「心の傷を癒すということ—神戸…365 日」を刊行。同書は「第 18 回サントリー学芸賞」を受賞した。神戸大学医学部講師、神戸市立西市民病院精神神経科医長を務め、心的外傷の治療のパイオニアとして活躍していたが、39 歳の時に肝細胞癌で死去した。

フィルムトーク

「心の傷を癒すということ」プロデューサー 原案者・安克昌の実弟

堀之内 礼二郎 × 安 成洋

2022 年 **10/29(土) 15:45-16:45** 会場：都城市立図書館 1F ギャラリー

都城市出身で「心の傷を癒すということ」プロデューサー堀之内礼二郎さんと、本作のモデルとなった安克昌さんの実弟・安成洋さんをお招きし、製作に寄せる想いをお聞きます。

堀之内 礼二郎（ほりのうち・れいじろう）

2003 年に NHK 入局後、福井放送局で番組制作、東京・大阪でドラマ制作に携わる。2012 年には米 LA でハリウッド流プロデュース術を学ぶ。携わった主な番組は、大河ドラマ『天地人』『花燃ゆ』、連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』『べっぴんさん』『まんぷく』『カムカムエヴリバディ』、土曜ドラマ『心の傷を癒すということ』（第 46 回放送文化基金賞最優秀賞受賞）



安 成洋（あん・せいよう）

1964 年大阪市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。安克昌の実弟。経営法務コンサルタント（行政書士・中小企業診断士）。